

築結地「レンバン」島は未開の島嶼にして自活上種々の悪条件ありたるも軍司令官以下全員の努力により危機を脱しその成果瀟々

7. 被服状況

終戦當時は他地域に比し良好なりしも所持定数を制限せられ部隊豫備品と共に英軍に接収せられたる爲逐次衰減しわが目下英軍に交渉少量乍ら受領しつつあるも現着装被服の程度は中以下なり

8. 衛生状況

入院患者數約六千にして外に「レンバン」島にて病院施設整はざる爲未收容の者も約三千名あり
衛生材料は終戦前は極めて豊富なも英軍の回收により現在は二乃至四ヶ月を保有しあり同一不足品に對し二月中旬佛印より約二、五〇〇箱輸送せり

9. 其他

- 私金は總て聯合軍に回收せられあり
- 「レンバン」「ガラシ」島部隊は現地自活に努力中なり
- 「シンガポール」「ジョホール」等の部隊は大分作樂隊として聯合軍の作樂に従事しめり待遇も逐次良好となりつつあり
- 南方軍總司令官寺内元帥は三月十四日「サイゴン」より「ジョホールバル」に移動せられ澤田總參謀長以下約五〇名の小司令部を以て依然終戦業務處理に任せられあり
- 「レンバン」島の面積は南北を合し約一四二平方軒なり
- 「ガラシ」島は約八一平方軒なり
- 「アムダマン」「ニコバル」諸島陸海軍部隊は(一三、四二九名)二十年十一月以降北「レンバン」に移動を開始し一月下旬を以て完了せり健康状態其他一般に良好なり

其五、爪哇

1. 主要集結部隊

陸軍

第十六軍司令部（治一六〇二）、獨立混成第二十七（治又は薩一〇八一〇）、同二十八旅團（治又は教一〇八二〇）、電信第十五（治一八五六）、戰車第四自給隊（五八）、自動車第二十八聯隊（治一六二四）、南方軍野戰造兵廠（岡又は治一〇四九七）其他自動車、航空部隊等

海軍

第二南遣艦隊司令部（バタビヤ）、第二十一特別根拠地隊（スラバヤ）、第三警備隊（バリ島）

2. 集結地

西部「バタビヤ」「バンドン」「チコレ」「ボントゲテ」「ボコ」東、中部は「インボムシヤ」の管理下であり「バリ島」「ロンボウタ」島部隊は夫々島の治安を維持しあり尚

一部「ガラシ」島に移動しあるの外現在爪哇殘留部隊も逐次同島に移動準備中あり

3. 集結人員（二十一年一月三十一日現在）

西	部	二八、五三三
東	部	三三、二〇〇
中	部	五、〇五〇
「バリ」島		三、四三三
「ロンボウ」島		三、三三四

4. 歸還時期

一應「ガラシ」島に移動後内地歸還と豫定せられあり
歸還時期、現況に於ては八、九月の見込（既に一部は歸還しつつあり、南洋方面の檢送開始に伴ひ若干遅延を見るものと判断せらる）

5. 治安状況

終戦後「インドネシア」の獨立運動激化し英「インドネシア」間に局地的戦闘を惹起し爲に政變。事業。兵器の委讓等を通り惡化し東部及中部は「インドネシア」の監視下にありて連絡不可能の状況にあるも目下之が救出に努力中なり

其他の地區は十二月中旬以降表面平靜に向ひつつあり

6. 給養状況

爪哇は終戦迄は最も豊かなりし處なるも終戦後は「インドネシア」獨立運動の影響を受け食糧品の調達は逐次困難となりつつあり西部集結部隊は聯合軍より一級のもの米八一〇ンスル其他にして熱量合計一六八五「カロリー」以内。勞務従事者二、五四〇「カロリー」以内と定められあるも既集積糧秣其他の關係上目下尙良好なる給養を維持しあるが如し

東、中部の状況は未だ不明なり

7. 被服状況

軍保有品も多く全員定數以上を保有しあるも警備。作業等の爲逐次衰損しつつあり

「ガラン」島移動の際の定數及「ガラン」駐留時期にありては尙一層衰損すべし

歸還者よりの情報に依れば「ガラン」島に於ては下衣類。靴類は相當衰損しありと

8. 衛生状況

終戦以降各種戦闘により戦死六二七戦傷三五三を生ぜり入院患者數は約二千六百にして主要疾病は「マラリヤ」「アメーバ」赤痢及結核性疾患なり

衛生材料の大部は聯合軍に引継「インドネシア」側の掠奪に遭ひたるも概ね二ヶ月分を保有しあり但主要藥品は不足しあり

又其他

○將兵は依然として俸給を現地に於て受領しあり

○「バタビヤ」集結部隊等は一部作業隊として勤務しあり
 爪哇には依然南發權が流通し副食物等調辨爲しあり
 ○東部爪哇海軍部隊は全員「ブデヨン」地區に集結しあり
 其六、「スマトラ」

1. 主要集結部隊

陸軍

第二十五軍司令部（富八九九一）、近衛第二師團（富又は富三八一四）（主力）、第九飛行師團（富又は富一五三五〇）（主力）、獨立混成第二十五旅團（富又は富一〇九〇八）其他

海軍

第九特別根據地隊

2. 集結地

「メダン」附近 近衛第二師團北「スマトラ」燃料工廠其他
 「パレンバン」附近 第九飛行師團南「スマトラ」燃料工廠其他

「ブキチンキ」 第二十五軍司令部等

「スマトラ」殘留部隊も將來「ガラシ」島に集結の豫定なり
 近衛第二師團の一部第九飛行師團の一部等既に「ガラシ」島或は馬來島（主として「バトバハ」に移動しあり

3. 集結人員（二十一年五月十三日現在）

「メダン」附近 九、六二一

「パレンバン」附近 一三、六五九 油印（舊備の爲の殘留員なり

4. 歸還時期

一應全員「ガラシ」島集結後歸還のこととせられざるも現状に於ては大體八月乃至十月頃終了と豫定せらるるも滿洲方面の輸送開始に伴ひ若干遲延を見るものと判断せらる

5. 治安状況

爪哇に於ける「インドネシヤ」獨立運動の刺戟を受け昨年十一月十二月頃は日本軍に對する兵器の要求乃至それが爲の襲撃等頻發

せるも最近は表面平靜に歸しあり

6. 給養状況

聯合軍進駐以降も日本軍にて治安維持に任じたる關係上給養に關し聯合軍の全面的管理を受くることなる概ね良好なる給養を維持しありたり特に本年一月迄は米五七〇瓦程度の給養を實施し三月以降は米一級二〇〇瓦(外に雜穀々〇〇瓦)勞務者三八〇瓦以内等に減少せしめられたるも既集積糧秣等或は現糧物資等により尙良好なる状況にあり

7. 被服状況

概ね定數を保有し程度良好なるも歸還時期遲延せば衰損すべし

8. 衛生状況

入院患者數は一時三千名を算したるも其後逐次減少し一月末入院患者數は約二千名(一掃蕩來方面に移住せるものを含まず)なり衛生材料は約半分を保有しあり

9. 其他

- 將兵は依然現地に於て俸給を受領しあり
- 「スマトラ」には南發券依然流通し副食物等を調辨しあり
- 海軍第九特根は昨二十年十二月二十二日無事「バトバハ」に歸還完了せり

其七、「ボルネオ」

1. 主要集結部隊

第三十七軍（灘九八〇一）、獨混第五十六（灘又は貴一五八九〇）同七
 十一旅團（灘又は敢隊一一〇〇〇）獨混第二十五聯隊（灘一二九三五）
 「ボルネオ」燃料工廠（岡又は灘一五八五三）獨立第十飛行團（灘九
 六二二）其他

2. 集結地

北「ボルネオ」
 「クチン」、「ラプアレ」、「ヤツセルトン」
 南「ボルネオ」
 「サマリンダ」、「バリクババン」、「ボンチャナツク」等

3. 集結人員

北「ボルネオ」 約二萬一千
 南「ボルネオ」 約一萬二千

4. 歸還時期

英領北「ボルネオ」方面は戦犯關係者七七〇名（將來「シンガポール」に移送される様子）を除き歸還殆ど完了
蘭領南「ボルネオ」 五、六月中

5. 治安状況

北「ボルネオ」は平靜大なる不安なし南「ボルネオ」方面の状況は不なるも「ポンチャナック」方面は治安不良にして不安大なるもの如し

6. 給養状況

一般に給養不良なり「カロリ」合計一、七〇〇乃至二、〇〇〇「カロリ」程度なり

7. 被服状況

被服更新不能なり且舊被服多く衰壞し及び上野軍に於て殆んど全員更新を要す

8. 衛生状況

衛生状況は衛生停止の部類不良の爲に衛生設備が不備なり、衛生材料も殆んど消費し聯合軍も衛生設備を交付し衛生を要す

9. 其他

○集結部隊の大部は作業隊として勤務しあり
○私金は總て南支金庫其他の預金又は預り金として整理しあり
其ハ、「ヤレベス」

1. 主要集結部隊

陸軍 第二軍司令部（輝又は勢一六、四〇〇主力）獨立海隊第五十七旅團（輝又は桂一五、九〇〇）「タラウド」派遣隊（歩兵第二一〇聯隊第三大隊 第三十二師團衛生隊）電信第二十六聯隊（第一六、三三三主力）獨歩第三七七大隊（輝又は桂一五、九〇六）其他航空船艇通信自動車部隊等
海軍 第一、八三七名「ニコイキニヤ」より轉進しあり（主として看護）
海軍 第二十三特務根拠地隊

2. 集結地

北部「ピートン」及「レンベ」島群海軍五十七旅團「タラウド」派遣隊
南部「マリンプシ」及「マカッサル」西北方（第二軍司令部其他の一部）
「マカッサル」一「タンダリ」一「ブレバレ」にあり

3 集結人員

北部（二十年十月三十一日現在）

陸軍六、〇九三（第八五、二八〇部隊一〇六其他）

海軍九七九（第八七八一部隊一九八）

南部（二十一年二月五日現在）

陸軍一二、七一七（第八一〇、八二九部隊一四二八其他）

海軍一〇、〇一八（第八四、五四一部隊二、一五〇其他）

4 歸還時期

北部「セレス」 五月下旬完了

南部「セレス」 五、六月中旬完了見込

5 治安状況

治安維持して平時現住民居住も差支無事の上聯合軍の取扱善適 集結

部隊は二月以降移設移設（セレス）より連絡を受けあり

6 給養状況

南部「セレス」給養率三二五至四五〇瓦野率六九〇瓦外

にして熱量計二、〇〇〇「カロリ」程度概ね良好なり

尚現地自活も着々進み且新地四五〇陌を有し五月以降野菜類自給可能なり

り畜産味噌は完全自給あり

北部「セレス」は詳細不明なるも大体南部と同様なる可し

7 被服状況

南部北部衣被、襪袴袴下靴以下個人裝備を保有し概ね良好なり

8 衛生状況

「セレス」特に南部「セレス」地區は衛生状況概して良好なり

9 其他

○將兵所持金を野戦郵便貯金に整理しあり

○集結部隊の大部は夫々指定集結地に於て農耕に従事しありて聯合軍の

作業等は少きが如し

其九、「バルベハラ」島

10 主要集結部隊

第三十二師團（輝又は楓四二五〇）獨立海成第一二八旅團（輝又は快穂

第十派遺隊（輝一二九〇一）第二方面軍野戰兵器（輝一〇六二七）自
 動車（輝一〇六二八）貨物廠（輝一〇六二九）外一般部隊第二十九航空
 地區司令部（輝又は司天六三七）外航空部隊

2. 集結地

「ハルマハラ」島「カウ」海周邊「ワシレ」「ハチタバコ」「ダル」カ
 「ウ」一ボレ」等

3. 集結人員

陸軍三二、四五八（軍人二五、六五二軍醫一、四四三其他）
 海軍五、七六八（軍人二、六一〇軍醫三、一五八）

4. 歸還時期

五月以降六月

5. 治療状況

平穩 不安なし

6. 給養状況

給養より聯合軍給養所給養所内を借りて給養の要なき状態と新に集結地

に移動せる部隊とにより差違あるも大体米五〇乃至一〇〇瓦乾「パン」

六〇乃至二〇〇瓦甘藷二四〇乃至八六〇瓦其他にして熱量一、六〇〇カ

ロリー」程度なり

部隊は現地自活に努力しあり

7. 被服状況

衣袴一、二、補袴袴下一、靴一、五、等を保有しあり程度中以下なり

8. 衛生状況

聯合軍指定集結地に移送せる約四分の一の兵力移送後相當数の患者の發
 生を見たるも逐次その数を減じあり

栄養失調症は減少しあるも「マラリヤ」結核性疾患増加しあり

衛生材料は比較的豊富なり

9. 其他

○二十年九月三十日「モロタイ」支隊生存者川島少佐以下六五〇名收容

○二十年十二月一日使役隊七〇三名を「モロタイ」に派遺せり